

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	I・4 (3)	運営推進会議に行政担当者の参加がない。	行政担当者を含めた適切なメンバーによって、運営推進会議を実施する。	中川区西部いきいき支援センターへ運営推進会議に参加いただけるよう依頼を続ける。(継続)	12ヶ月
2	I・4 (3)	運営推進会議に入居者家族の参加が少ない。	入居者家族にも参加いただき、運営推進会議を実施する。ご家族・地域・行政・ホームからの様々な声を反映し、より良いケアを検討することができる。	“『運営推進会議』へ参加して下さい。”ではなく、交流会・防災訓練などの行事参加の後、声を聞かせていただく場として会議を開く。行事への参加もなかなか見込めないため、より気軽に入れる場を検討し、運営推進会議への参加に繋げる。	6ヶ月
3	I・2 (2)	地域との関わり(交流・繋がり)が弱い。	入居者ひとりひとりが地域の一員として、社会の中で生活する。	運営推進会議で地域の声を聞き、出来る限り反映させる。地域住民と交流できる機会をホーム内外問わず設け、理解を深めていただくことで繋がりを築く。散歩などの外出時には、地域の方々に挨拶を必ずすることで“顔見知り”の関係を作る。	6ヶ月
4	Ⅲ・33 (12)	現状、看護師不在ためターミナルケアができない。入居者の状態が重度化した場合(終末期)、ご家族の希望に添えないケースがある。	ターミナルケアをする選択肢を確保し、その人にとってより良いケアが提供できるようにする。	看護師の人材確保。ご家族へ「医療連携加算」の説明とし理解を求める。	12ヶ月
5	Ⅳ・54 (20)	入居者の居室に個々の生活感が感じられない。	個々の居室から“その人らしい暮らし”が感じられる空間・環境にする。	危険なものを取り除くことで、殺風景な居室になりがちである。改めて“その人”を理解し、生活歴をたどり、好きな色やもの、趣向などを汲み取り、居室の充実を図る。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。